

議会だより

令和元年8月発行

No.194



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

優雅に咲き誇る 花菖蒲



(写真：小矢部河川公園の花菖蒲)



補正予算の概要	2
審議経過・議長交際費等	2
審議議案・議員別賛否状況等	3
代表・一般質問	4～10
委員会報告	11

次回議会日程	11
閉会中委員会開催状況	12
市外からの行政視察	12
委員会行政視察報告	13
会務報告・編集後記	14

一般会計補正予算・条例改正など

7議案を議決しました

6月14日から27日までの14日間を会期として6月定例会を開会しました。
6月定例会では、市長から令和元年度小矢部市一般会計補正予算や条例の一部改正、工事請負契約の締結についてなど議案6件、議員から議員提出議案1件が提案され、それぞれ原案のとおり可決しました。
その他、法令等に基づく報告事項が3件あったほか、議員派遣を可決しました。

◎ 6月補正予算の概要

議案第30号 令和元年度小矢部市一般会計補正予算（第1号）
補正額 7億9,387.5万円 累計予算額 167億4,397.5万円

《主な事業》

- 競争力強化生産総合対策事業費（県補助金を活用）
6億3,232.4万円
東部カントリーエレベーターの新設・改修に対する助成
- 商工業振興対策費（国庫補助金を活用） 1億2,858.3万円
プレミアム付商品券発行費用
- コミュニティづくり推進費
（自治総合センターコミュニティ助成金を活用） 420 万円
自治会の備品等の整備に対する助成
- 小学校管理運営費（寄附金を活用） 160 万円
市内小学校の学校図書、津沢小学校の備品を整備
- 中学校管理運営費（寄附金を活用） 140 万円
市内中学校の学校図書、津沢中学校の備品を整備
- 健康増進対策事業費 20 万円
がん患者用ウィッグ・乳房補正具の購入に対する助成

6月定例会の 審議経過

（会期14日間）

14日	本会議（提案理由説明） 全員協議会
17日	議案調査日
18日	議案調査日
19日	議案調査日
20日	議案運営委員会 本会議（代表・一般質問）
21日	議案運営委員会 本会議（一般質問）
24日	総務産業建設常任委員会 民生文教常任委員会 人口対策特別委員会
25日	公共施設再編特別委員会 議案調査日
26日	議案運営委員会 本会議（提案理由説明） 全員協議会
27日	総務産業建設常任委員会 委員長会議 本会議（質疑・討論表決他）

永年勤続議員表彰

全国並びに北信越市議会議長会定期総会において、次の方が議員表彰を受けられました。

◎ 議員在職20年以上表彰

沼田 信良 議員



令和元年度 議長交際費支出内訳表

平成31年4月～令和元年6月（単位：円）

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	6	36,540
① 御祝・寸志	2	14,540
② 激励金	2	11,000
③ 見舞・香典	2	11,000
2 協賛費	7	26,394
3 会費・懇談会費	6	33,000
4 その他	4	62,128
合計	23	158,062
令和元年度予算額		1,300,000
執行率		12.16%

※小矢部市議会のホームページからご覧いただけます。

6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議案番号	議案内容	議決結果	林	竹	出	谷	山	加	義	吉	藤	白	福	中	石	嶋	沼	砂
				登	松	合	口	室	藤	浦	田	本	井	島	田	田	田	田	田
予補 算正	議案第30号	令和元年度小矢部市一般会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	議案第31号	小矢部市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について ・国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律が改正されたため、関係部分について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	議案第32号	小矢部市税条例等の一部改正について ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
条例の 改正	議案第33号	工事請負契約の締結について ・(仮称)石動コミュニティプラザ建築主体工事の請負契約の締結を行うもの。 契約金額：597,850,000円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	承認第1号	小矢部市税条例等の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。 (平成31年4月1日施行/ふるさと納税制度の見直しに関する部分は令和元年6月1日施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
専決承認	承認第2号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法等の改正に伴い、国民健康保険税の軽減措置(5割軽減・2割軽減)に係る所得判定基準に関する改正を行ったもの。(平成31年4月1日施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	議員提出議案第1号	小矢部市議会会議規則の一部改正について ・会議におけるタブレット端末の使用に関する規定を定めるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○

議長は表決に加わりません

6月定例会で報告された事項

報告	報告第1号	平成30年度小矢部市継続費繰越計算書の報告
	報告第2号	平成30年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告
	報告第3号	平成30年度小矢部市水道事業会計予算繰越計算書の報告



QRコード



小矢部市議会 会議録の検索と閲覧のページ
<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/oyabe/SpTop.html>

定例会や臨時会の本会議の会議録を小矢部市議会のホームページ上で公開しています。
 平成10年12月定例会以降のものから最新の会議録まで、全内容について閲覧することができ、発言者やキーワードなどからも検索できます。

会議録の検索と閲覧



会派「誠流」

義浦 英昭 議員

質問 定住支援課において、移住・定住の促進や結婚活動の支援を初めとした各種施策について、具体的にどのような施策で、どんなふうに取り組むのか。また、目標をどのように達成していくのか。市長の所見を問う。

組むことはもちろんであるが、市民の皆様方にもご協力を賜り、本市の住みよさを磨き上げながら、定住・子育て施策をしつかりと推進し、一人でも多くの方が本市に住んでもらえるよう努力をしていきたいと考えている。

た。これらの方々とのご縁を大切にするため、「ふるさと通信」発信業務を開始して、SNSや紙媒体で定期的に本市の近況や寄附金の使い道の状況などをお知らせし、継続的な関係につなげていきたいと考えている。

小矢部市地域公共交通網形成計画を踏まえて、今日の地域公共交通を取り巻く環境の変化などを背景に、あいの風とやま鉄道の石動駅での車両の折り返し運転やオンデマンドバスの導入を検討するとともに、市内とあわせて近隣自治体との持続可能な地域公共交通のあり方についても、しっかりと検討していきたいと考えている。

市長 特に新婚世帯を支援していきたいという思いから、本年4月1日以降に住宅を取得した婚姻してから3年以内の新婚世帯に対する住宅取得助成金制度、上限50万円を新たに設けた。転入者に対する住宅取得助成金、上限100万円については、対象者を転入から1年以内を3年以内に住宅を取得した場合に助成することとし、助成対象となる期間を拡充した。この拡充により、転入や結婚をきっかけとして、まず賃貸住宅等で賃貸住宅家賃助成を受けていただきながら、本市での住みよい暮らしを経験しつつ、住宅の取得を検討していただける体制が整ったものと考えている。目標人口2万8千200人の達成のため、私も含め、職員が一丸となり取り

質問 ふるさと納税制度の取り組みと関係人口との継続的なつながりに向けた取り組みについて、市長の所見を問う。

市長 令和元年5月1日から返礼品をリニューアルし、53品目であった返礼品を100品目まで拡充した。あわせて寄附金額の区分を新たに2万円、4万円、5万円、10万円の区分を増やし、全部で8区分まで細かく設定した。農業特産物を中心とした返礼品が、みそやしょうゆ、お菓子など、市内事業者が製造する商品も新たに加わり、幅広いラインナップで用意することができたところである。

ふるさと納税をしていただいた方の37%は、市出身者や本市に親戚・知人がいるなど、本市と何らかのご縁がある方であった。これらの方々とのご縁を大切に

市長 高齢者の運転免許証返納に係る不便を緩和するため、75歳以上の方に対する市営バスの無償化に加え、65歳から75歳未満の方への市営バス定期券の無料交付と2万円相当分のタクシー券または加越能バスの回数券に対して助成する事業に取り組んでいるところである。

市長 高齢者が運転免許証を返納することは、生活が不便になることや、移動機能が低下することによる外出回数の減少につながるなど、なかなか免許証返納に踏み切れない状況である。高齢者に対する具体的な交通対策と高齢者を含めた公共交通対策などについてどのように考えているのか。市長の所見を問う。

また、高齢者による運転免許証の返納が年々増加していくこ

とが予想され、通院や買い物への移動手段の確保として、市営バス等の高齢者のニーズがさらに高まっていくものと考えている。

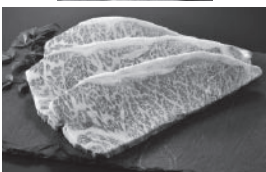
- ◎人口減少問題について
- ◎ふるさと納税の取り組みについて
- ◎高齢者に対する交通対策について

た。これらの方々とのご縁を大切に

また、高齢者による運転免許証の返納が年々増加していくこ

とが予想され、通院や買い物への移動手段の確保として、市営バス等の高齢者のニーズがさらに高まっていくものと考えている。

とが予想され、通院や買い物への移動手段の確保として、市営バス等の高齢者のニーズがさらに高まっていくものと考えている。



ふるさと納税の返礼品目が大幅に増えました



会派「市民報徳会」
嶋田 幸恵 議員

質問 元号が「平成」から「令和」に改められたが、これに伴う市のシステムや文書等の移行作業は円滑に進んだのか。

また、天皇陛下ご即位に祝意を表するための記帳所を市役所に設置していたが、祝意はどれだけ届いたのか。

次に、昭和天皇が「立山の御歌」を詠まれた御野立所付近にある寿永荘跡地を公園に整備し、御製碑を建立することについてどのように考えているのか。

市長 平成30年度から、改元に伴うシステムの円滑な移行に向けて作業を進めてきた。さらに、5月1日には20人体制でエラーチェック等を実施し、問題がないことを確認した。市が発する文書については、統一的な取り扱いを全ての部署に通知しており、予定どおり円滑に移行が完了したものと認識している。

また、市役所で受付を行っていた祝意の記帳は、最終的には77人から祝意が寄せられ、速やかに県を通じて宮内庁に奉呈したところである。

次に、寿永荘については、2年後に解体が予定されており、第7次総合計画において、その跡地を公園として整備するよう計画している。御製碑の建立については、公園整備に合わせて検討したいと考えている。

質問 東京オリンピックの聖火リレーの県内ルートは、クロスランドおやべからスタートすることになったが、この好機を捉えて、本市でも実行委員会を立ち上げて、本市をアピールできるようにタイムスケジュールを組んではどうか。

また、本市から、多くのホッケー日本代表選手が選出されているが、強化選手への取組について問う。

市長 このチャンスを生かして、地域の活性化と魅力の発信に繋げることは重要だと考えている。ホッケーについては小矢部市民が出場することが期待されているので、全国にホッケーのまち小矢部のPRに努めていきたいと考えている。今後は、県実行委員会とも連携・調整しながら、

本市における気運を盛り上げる方策について、提案のあった方式も含めて検討し、市民一丸となってチャンスを生かせるよう取り組んでいきたい。

また、6月の国際大会において、本市在住の3選手が日本代表として選出されたことは素晴らしいことである。今後も激励金の交付やCATVを通じて選手の活躍を広く市民に周知するなどしながら、引き続き、選手の支援をしていきたい。

質問 高齢者が元気で長生きしてもらい、人手不足を補ってもらうためにも、介護や保育などの分野で、市独自の講座を実施して、修了書を出し、やりがいと自信を持つて社会参加できるようにな仕組を作れないか。

また、高齢者が行方不明になった際の搜索体制について、関係機関から聞き取りを行うなどして、連携システムの改善を図れないか。

また、市職員の消防団加入推進に向けた取り組みをしていたきたい。

市長 提案のあった講座の開設については、社会福祉協議会やシルバー人材センターなどの関係機関と情報共有や連携を図りながら、調査研究を進めていきたいと考えている。

また、行方不明者の搜索体制における現状の課題等については、警察署や消防署、消防団員から聞き取り調査やアンケートを行うとともに、地区振興会、自治会及び自主防災組織などとの連携や役割分担を検討し、行方不明者の搜索体制をより良いものにしていきたい。

また、市の防災力の強化という面では、消防団の構成員が充足され、関係者の総数が増えることが望ましいが、職員自身の防災意識の向上やまちづくりへの積極的な参画という面からも意義があることから、引き続き入団に努めていきたい。



クロスランドおやべから
県内の聖火リレーが
スタートします



白井 中 議員

質問 ふるさと納税の返礼品として、農業体験と収穫した野菜やお米を組み合わせた体験型の返礼品を検討できないか。

また、ヤーコンの加工品開発に力を入れ、地場産品を開発して、本市のふるさと納税の魅力を高めることはできないか。

企画政策部長 今年の5月から農園で野菜の収穫体験ができる返礼品を取り入れた。体験型返礼品は、実際に本市に足を運んでもらうきっかけにもなるため、今後も積極的に取り入れていく予定である。

ヤーコンを使用した商品の開発や改良については、今年度開催を予定している返礼品ブラッシュアップ講座に積極的に参加していただきたいと考えている。

質問 来年4月に開園する2つの統合こども園の職員体制は、現在と比較してどのように変わるのか。

民生部長 新たなこども園では、土曜保育や一時預かりなどの特別保育サービス



ヤーコンの加工品 (ヤーコン茶)

を実施する予定であるため、職員全体での大幅な増減はないものと見込んでいる。開園時の職員配置数は、今年10月に予定している入所申し込みの状況に応じて随時対応する考えである。

質問 健康寿命の延伸と医療費の抑制に向けて、歩いた歩数等に応じてギフトカードに交換できる白子町の健康ポイント事業を参考にしたい取り組みを実施する考えはないか。

民生部長 本市では、昨年度より、とやま呉西圏域連携中枢事業「とやま呉西圏域ポイントサービス事業」を開始したところであり、この事業の普及に努めたいと考えている。今後は、白子町などの先進地の取り組みを参考に、内容の充実や、市単独での事業の実施などについて検討したいと考えている。



中田 正樹 議員

質問 現在のふるさと納税制度は、高額納税者への物品による還付の側面があり、格差の助長につながる。

企画政策部長 ご指摘のような考えもある。今月から改正地方税法が施行され、返礼品が寄附額の3割以内となり、高額納税者のメリット

の幅が狭められたものと考えている。本来、生まれ故郷などを初めとするお世話になった地域や応援したい地域への寄附を行うことが主目的であり、今後とも制度の行方を注視していく。

質問 通学路、子供が利用する道路、本場に危ない歩道等は、速やかに整備をすべき。

産業建設部長 縁石の高さが不足している歩道の改善については、今後の大規模改修の際に適正な構造へ改善する。それまでの利用に当たっては、縁石の天端に反射材や視線誘導標を設置することにより、視認性を高める対策を行い、安全性を高めることにより対応する。

質問 アシスト機能つき車両の交通事故防止効果は、データによって裏づけられている。高齢者に対する車両購入時の補助制度を設けては。

民生部長 アシスト機能を装着した車両であれば、交通事故の未然防止や、被害に遭った場合でも最小限に抑えることにつながるものと、大きな期待が寄せられている。機器メーカーの技術の進展、それから国・県及び他市町村の動向を注視しながら、本市としても対応策を検討する。

質問 石動駅駐車場は工事期間中とはいえ大変不便である。何か工夫できないか。

産業建設部長 現在、図書館工事が行われている。安全確保の観点から現状の配置となっている。限られたスペースを活用しての工事期間中に限った運用であり、ご理解をいただきたい。



通学路の安全点検風景

- ◎ふるさと納税について
- ◎働き方改革について
- ◎健幸ポイント事業について

- ◎格差社会と貧困の現状について
- ◎歩行者の安全確保、交通安全対策について
- ◎石動駅の現状、安全と利便性について
- ◎小中学校の統廃合について



竹松 豊一 議員

◎小中一貫教育について
◎信号機設置並びに運転免許証自主返納について

質問 小中学校の統廃合の議論の過程で、小中一貫教育についても議論されているが、当局の見解を問う。
教育長 小中学校の統廃合は、児童生徒にとってのより良い学習環境の構築という観点から学校の適正規模・適正配置を考えるものであり、小中一貫教育は、小学校教育から中学校卒業まで一貫性のある指導・教育環境をどのように作るかという視点で考えるものである。小中学校統廃合審議会において、まず児童生徒のことを一番に考え、統廃合と併せて小中一貫教育のあり方についても検討されていくものと考えている。

質問 臨任講師が県内で不足しているが、本市の臨任講師等の人員確保についての状況を問う。
教育長 正規教員が病欠休暇を取得した場合や産休・育休の取得が見込まれる場合には、速やかに県教育委員会に対し臨任講師の配置を依頼し、空白期間が生じることなく補充していただいている。今後とも、臨任講師をはじめ、学校現場で必要な人材の確保にしっかりと取り組んでいただければ、県教育委員会と連携を図りたいと考えている。
質問 埴生地内の第二千歩島線と小矢部福光線にかかる交差点の信号機の設置について問う。
民生部長 今後とも、自治会等からの設置要望があれば小矢部警察署へ伝え、引き続き交通環境の改善に向けて働きかけていきたいと考えている。
質問 運転免許証自主返納支援事業の拡充について当局の見解を問う。
民生部長 運転経歴証明書の取得費を含む免許証自主返納者に対する補助については、関係機関等の情報把握に努め、返納促進のあり方も含めて検討していきたいと考えている。



第二千歩島線と小矢部福光線との交差点

一般質問

◎稲葉山道路の拡幅と山頂レストランについて
◎新富町交差点から泉町交差点までの渋滞対策について
◎農地(畑作)の猪対策について



谷口 巧 議員

質問 稲葉山山頂へ向かう道路でサイクリングやトレッキングが増えてきている。道路の拡幅などの安全対策について問う。
また、山頂までの中間地点の見晴らしの良い場所にミニ休憩所を作れば観光客増加にも寄与するのではないか。
産業建設部長 これまでに安全施設の設置や地山の掘削により見通しの改善を行ってきた。今後は、大型車両が安全に通行できるよう改良を行うなど、安全で安心な道路整備に努めたい。

質問 新富町交差点から泉町交差点までの交通渋滞の解消に向けて早急な対策を望む。市役所付近の道路であり、市役所は石動駅と並んで本市の顔である。また、都市計画道路寄島西中野線が開通した場合の影響について問う。
産業建設部長 道路の拡幅は多大な費用と時間を要する事が想定される。今年度実施する交通量調査の結果を踏まえ、道路管理者である県と協議をしていきたい。
また、寄島西中野線が開通した場合は、交通分散が図られ、加えて、災害時の緊急輸送を補完することになるものと考えている。
質問 イノシシ被害が増える道の駅へ野菜の出荷が減っていると聞いている。どのように対策しているのか。
産業建設部長 電気柵の補助制度は、水田に限らず畑地も対象としている。市単独補助では、概ね200m以上の農地に電気柵を設置する場合、対象経費の3分1を助成している。関係者に広く周知されるよう広報活動を行っていききたい。



稲葉山中腹からの眺望



林 登 議員

質問 本年10月1日より、全国で保育園・こども園などの利用料が無料になる。本市の新しい料金体系について問う。

民生部長 3歳児クラス以上の児童で、給食の副食費を除く保育料が無償となる。副食費相当分については、月額4千500円を保護者の方に負担をお願いする。第3子や同時入所の第2子に対する保育料と給食費の軽減は従来どおり継続する。

質問 幼保無償化による財政面への影響をどのように認識をしているか問う。

総務部長 本市の財政負担は発生しないと認識している。

質問 2020年度に新しい学習指導要領が小学校において全面実施される。地域や民間企業と連携・協働することは、重要だと考える。当局の考えを問う。

教育委員会事務局長 外国語教育やプログラミング教育において、学校と地域とが連携・協働することは大変有効であると考えます。民間企業

が持つノウハウと教科単元の関連をどう位置づけるかなどの課題がある。

質問 学校現場では、留守番電話の設置がないため、勤務時間外でも保護者からの問い合わせに対応することがあり、業務の負担になっている。小中学校に留守番電話を導入してはどうか。

教員会事務局長 教職員の多忙化解消には有用な手段の一つと考えている。課題もあるため検討を重ねたいと考えている。

質問 本市が東京圏に持っている関係人口の拡大を進めていくべきだと考えるが、当局の考えを問う。

企画政策部長 首都圏で活動されている本市出身の若い世代を対象に意見を聞くためのワークショップを予定している。眠っている関係人口の把握、連携の強化に努めていきたい。



民間でのプログラミング教育の様子



和 和 議員

質問 定住支援課へどのような相談、問い合わせがあり、何件ほどの問い合わせがあったか。またどのような方からご相談があったのか。

が必要であるが、統合される保育所跡の除却処分が必要な公共用地を移住・定住に活用できるよう一般入札等、競売を通じ活用できないか。

企画政策部長 相談内容については、住宅の新築を予定しているが、どのような助成があるのか、転入しアパートに入居したいが何か助成はあるのか、リフォームしたいが助成はあるのかなど、各種助成金についての問い合わせが多くあった。問い合わせ件数については、4月、5月の2ヶ月間で約270件の相談があった。そのうち、定住促進住宅取得助成金を取り上げると、昨年度76件の申請中、28件が転入者であり、内訳は県内25件、県外3件となり、75%の方がこの助成金が小矢部市に住む要因の一つになったとの回答があり、一定の効果が上がっていると考えている。

副市長 公共施設再編によって不要になってくる用地を売却等により住宅の建設用地とするなど、移住・定住促進につなげていくことは大変重要な視点であると考えている。土地が造成済みであるということから、工事費を考える上でも、農地転用等の行政手続きを考える上でも大変メリットのある土地だと考えている。保育所跡地については、今後、解体、譲渡及び活用について具体的な検討を進める中で、移住・定住促進につながる活用ということも視野に含め検討していきたい。

- ◎人口減少に対応する移住・定住の促進施策について
- ◎統合こども園と地域連携行事の開催について
- ◎統合こども園の交通問題について

質問 移住、定住をしたい方にとって、まず、住宅取得のための土地を探すこと



統合後の保育所の跡地の利用について検討されています

◎新図書館利用促進などについて
◎クロスランド周辺整備などについて



山室 秀隆 議員

質問 あいの風とやま鉄道石動駅に併設され建設中の新図書館は、来年3月に開館であるが、年間利用者10万人達成するための利用促進対策について問う。

教育委員会事務局長 石動駅と合築する新図書館の立地条件を最大限に生かして、親子連れや通勤通学で鉄道利用者にも気軽に立ち寄ることができる居心地よく学べる図書館を目指している。

具体的に、ＩＣチップを活用した自動貸出機や図書検索機等を設置し、利用者の利便性向上を図りたい。

また、読書通帳機を導入して、読書記録を通帳に記録することで、子供たちの読書活動の推進を図るとともに、来館意欲の醸成につなげて魅力ある図書館にしたいと考えている。

質問 クロスランドおやべは、多い日は約700人も市内外の保育所、幼稚園、こども園に利用されているが、休憩する広場周辺樹木の生育が悪い原因は何か。また、こども広場周辺に

は樹木が枯れたりして少ない状況であり、子供を見守る父兄のためにも木陰を作る樹木を植え、その周囲に円形ベンチ等の設置を設ける考えはないか。

教育委員会事務局長 クロスランドおやべ敷地造成土は北陸新幹線の加越トンネルの強アルカリ性掘削残土のため、土壌改良に加え、樹木周辺に追肥等を実施しているが、十分な効果が得られておらず、今後、土壌改良の方法や樹木の選定などについて検討していきたい。

また、こども広場の遊具周辺には日陰対策にあずまやを1棟設置してあるが、提案のあった木陰を作る樹木やベンチ等の設置については、快適に広場を利用していたいたくためにも、今後検討していきたい。



天気の良い日は多くの子どもたちで賑わいます



石田 義弘 議員

質問 市職員の人員不足はないか。定員管理計画を見直す考えはないか。

総務部長 職員の定員管理は、行財政改革の取組とあわせて、市民の理解を得ながら進めてきたものである。今後、行政需要の変化等が見込まれる中で、職員数を増加することに市民の理解が得られるか、慎重に検討すべきだと考えている。

質問 公務員の希望者が減少傾向にある中で、人材確保に向けてどのように取り組んでいるのか。

総務部長 近隣大学、専門学校などへの訪問に加え、大学の就職支援セミナーなどに積極的に職員が出向き、学生に対して公務員の役割や業務内容などを伝え、受験者数の増加に取り組んでいる。

質問 働き方改革関連法が施行されたが、今後の取組について問う。

総務部長 管理職を対象とした研修を実施し、制度の浸透と職員の意識改革に取り組んでいる。今後は、こ

れまでの仕事の進め方を根本から見直し、事務の民間委託や人工知能などを含む新たな技術の活用等による行政の合理化・効率化が必要であると考えている。

質問 本市では、各学校の規模が異なるため、同学年でも、学校によっては32人学級の学校もあれば、8人学級の学校もある。少人数学級の方がきめ細かい教育を受けられるが、この現状を鑑みると格差が生じており不平等である。当局の見解を問う。

教育長 公平に授業が展開されるという意味からも、できるだけ早期に35人学級将来的には30人学級が実現されていくことが妥当な進め方だと思っている。学級の編制基準見直しについて、他の自治体とも連携して国・県に要望していきたいと考えている。



学校教育のあり方について議論されています



砂田 喜昭 議員

- ◎国民健康保険税の引き下げを。とくに子どもの均等割廃止を
- ◎子ども医療費を18歳まで通院も無料に
- ◎学校給食費の無償化
- ◎発達障害児の早期発見早期対応のために
- ◎高齢者の公共交通機関の拡充へ利用者、市民、事業者による対策協議会を設置し検討を
- ◎単独浄化槽の転換促進のためにどうするのか

質問 国保税の子どもの均等割（一人約3万円）を市独自に廃止して欲しい。協会けんぽなどでは子どもが生まれても保険料は変わらない。加賀市は子育て支援で減免制度をつくった。

市長 全国市長会として国に強く要望している。また、議員提案のことも、多方面から検討もしていきたい。

質問 憲法は義務教育の無償化を定めており、給食費の無償化を求める。必要経費はどれだけか。全国では4千5百億円で可能だ。国はミサイル迎撃システム・6千億円を止めて、給食費の無償化に取り組むべきだ。

教育長 本市の給食費は約1億2千万円だ。低所得者には就学援助で対応しているが、全児童対象の無償化には、財源確保が課題であり、困難だ。

質問 発達障害を抱える子や、ちょっと気になる子が保育園児の一割もいる。これは親のしつけや愛情不足、家庭環境のせいではなく、生まれつきの脳機能障害で

あり、早期発見・早期対応で、社会的な適応障害を軽減できる。市の対策を問う。

民生部長 こあら相談会、ペンギン親子教室などで早期発見・早期対応に努めている。課題として保護者の気づき不足もあり、親子のふれあいや交流の場を設けている。保育士の研鑽にも務めている。臨床心理士などによる巡回カウンセリングを年2回実施している。

教育長 教職員の研修をするとともに、全小中学校にスクールカウンセラーなどを配置し、相談者への系統的支援をしている。

質問 市営バスの改善に努力してきたが、さらに拡充の要望が出ている。

民生部長 来年度からの総合的な公共交通の計画を策定する。その中で市民要望について十分検討したい。



学校給食

- ◎人口減少対策の取り組みについて
- ◎高齢者の健康づくりとスポーツについて



加藤 幸雄 議員

質問 第7次総合計画、2028年の目標人口2万8千200人の根拠と対策を示せ。

企画政策部長 この目標人口は、アウトレットモールの開業や企業誘致等に伴う効果による社会増を上乗せし、国や県の人口ビジョンにおける合計特殊出生率を踏まえ、独自に推計したものに基づくものである。また、この目標人口達成のために、第7次総合計画の4つの重点プロジェクト及び小矢部ルネサンス総合戦略に掲げた施策を総合的に進めることが重要だと考えている。

質問 本市の結婚活動支援について問う。

企画政策部長 本市においては、サポート登録者を増やすための施策として、新たに、おやべ縁結びの会のインスタグラムを開設する。また、手に取ってもらいやすい名刺サイズの広報用カードも作成し配置している。また、出会いの場を創出するイベントや事業所等と連携した研修会等を考えている。

質問 健康寿命延伸に向けた取り組みについて問う。

民生部長 健康寿命延伸のための具休策は、健康づくりと介護予防の推進、生活習慣病の予防や重症化予防対策の推進、健康づくりや介護予防の環境整備の推進である。また、地域活動支援として、長寿会連合会への支援やいきいき百歳プラスワン体操を推進している。

質問 昨年スタートした「とやま呉西圏域健康ポイント事業」について問う。

民生部長 全体で274人の応募、そのうち小矢部市民は56人が応募している。今後は先進地の取り組みなどを参考に、市独自の事業の実施など検討したい。



おやべ縁結びの会のインスタグラムが開設されました

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員
会審査の過程において、市当局に対し、
次の意見がありました。

総務産業建設常任委員会

一点目は、投票率の低い若年層の投
票率を向上させるために、市として政
治や選挙への関心を高めるためのPR
活動等の各種対策について検討を行い、
有効な施策を講じるよう努めること。

二点目は、洪水ハザードマップなど
広く市民に周知すべきものについては、
市の公式フェイスブックページをもつ
と有効に活用し、充実した広報活動と
なるよう取り組むこと。

三点目は、来年八月の稼働を目標に
カントリーエレベーターの新設・改修
が予定されているが、これを機に、富
山米の新品種「富富富」や飼料用米な
どの生産拡大を図り、生産者の所得向
上に繋げ、さらなる地域農業の振興に
努めるとともに、地域農業の中心とな
る経営体の育成や担い手の確保に努め
ること。

民生文教常任委員会

一点目は、小中学校の統廃合につい

ては、小矢部市の子どもの教育環境
の充実を第一に考えて議論を進めるこ
と。

二点目は、幼児教育の無償化につい
ては、利用者負担額及び保育料が改正
されることから、保護者への十分な周
知に努めること。

三点目は、新図書館などの公共施設
の整備については、今後も計画どおり
に実施するとともに、効率的かつ円滑
な施設運用体制の構築に取り組むこと。

公共施設再編特別委員会 (中間報告)

一点目は、公共施設再編による廃止
施設の処分計画について、公有財産検
討委員会において策定済みの処分計画
については、対象となる施設の用途廃
止時期が決まっていることから、譲渡
予定の土地や建物における必要な準備
や手続きを開始すること。公有財産譲
渡については活用提案を公募するな
ど、透明性の高い手法を検討し、スピ
ード感のある対処とすること。

二点目は、クロスランドおやべ及び
その周辺施設における再編や機能集約
について、建設時から二十五年を経た
今日において、利用の状況や取り巻く
環境が大きく変化していることを的確
に把握する必要があります。特に総合
保健福祉センターとおとぎの館図書室
については、部局を横断する議論を重

ね、社会ニーズの変化をも反映させる
大胆な検討が必要である。

三点目は、本年十一月に策定予定の
「小矢部市公共施設長寿命化計画」に
ついて、この計画の策定においては、
ただ単に現在あるものを残すという機
能保全的な発想ではなく、老朽化の状
況と利用の状況を的確に把握したうえ
での、再編と機能集約を基本に策定す
べきである。

人口対策特別委員会 (中間報告)

一点目は、本市の魅力を掘り下げ、
市職員、さらには市民一丸となって本
市の魅力を発信するため、シティーブ
ロモーション戦略プランの策定に向け
て着実に取り組むとともに、おやべ型
産業観光などを通じて本市の企業の魅
力を発信し、若者や女性が本市で一
安心して働き続けられように雇用環境
の一層の充実を図ること。

二点目は、小矢部市に生まれ育つた
子どもたちを地元で根付かせる施策を
強化するとともに、若者が集えるよう
に賑わいの創出に努めること。加えて、
時代にあつた住み続けたくなる地域づ
くりを目指し、諸課題の解決に向けて
地域が一体となって取り組む体制の構
築に努めること。

9月定例会の日程(予定)

- 3日(火) 10時 本会議
- 5日(木) 10時 本会議(提案理由説明)
- 6日(金) 議案調査日
- 9日(月) 議案調査日
- 10日(火) 議案調査日
- 11日(水) 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議(代表・一般質問)
- 12日(木) 10時 本会議(一般質問)
- 13日(金) 10時 人口対策特別委員会
- 14時 民生文教常任委員会
- 17日(火) 10時 公共施設再編特別委員会
- 14時 総務産業建設常任委員会
- 18日(水) 10時 決算特別委員会
- 19日(木) 議案調査日
- 20日(金) 10時 議会運営委員会
- 委員長会議
- 13時 全員協議会
- 15時 本会議(質疑・討論 表決)

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。
詳細については、市議会のホームページをご覧ください。

※緑色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。



閉会中委員会開催状況

総務産業建設常任委員会

5月22日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・駅南側の駐輪場の収容可能台数が少なく、自転車を駐輪場にとめることができない。早急に駐輪スペースの確保に努めて欲しい。



増設された駅南側の駐輪場

民生文教常任委員会

4月25日開催

当日は、(仮称)石動コミュニティプラザ建設予定地に赴き、現地調査を実施しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・(仮称)石動コミュニティプラザの外部用トイレも、まちなかトイレと同等の使い勝手となるよう配慮して欲しい。



取り壊しが予定されているまちなかトイレ

5月10日開催

(仮称)石動コミュニティプラザの配置図及び平面図の修正内容(外部用トイレの拡充)を確認しました。

5月21日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。
・小中学校の統廃合に関する意見を幅広い年代から集めて欲しい。

公共施設再編特別委員会

当日は、クロスランドおやべ及びおやべ温泉源泉施設に赴き、現地調査を実施しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・パブリックコメント等の意見においても、公共施設の統廃合を速やかに進めて欲しいという意見が多い。早急に統廃合の方針を決め、スピード感を持って取組を進めて欲しい。



現地調査の様子

人口対策特別委員会

5月21日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・男性も育児しやすい環境を整えることが必要ではないか。
・実効性のある対策を講じるためには、各地区に人口減少の実態を示して、市民も一緒に人口減少対策に取り組むことが必要ではないか。

市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成31年3月22日～令和元年6月13日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
元. 5. 23	茨城県小美玉市議会 (常任委員会・特別委員会)	9	3	・企業立地施策、商業まちづくりプランについて

行政視察報告

総務産業建設常任委員会

【日程】 5月13日～15日

【視察先】 神奈川県川崎市
栃木県栃木市
埼玉県久喜市

【委員名】 ◎山室秀隆 ○谷口 巧
砂田喜昭 石田義弘
中田正樹 福島正力
義浦英昭 林 登

●市役所内部の「働き方・仕事の進め方改革」について

川崎市では、将来的な人口減少を見据えて、職員の働く環境の整備と意識改革（長時間労働の是正、業務の集約化や簡素化、研修等による人材育成・意識改革、ICTやAIの活用、時差勤務やペーパーレス化の推進等）を行い、加えて、多様な働き方の推進（女性の活躍推進、障害者雇用の拡大、高齢職員の活用、テレワークの試行等）により、将来にわたりより良い市民サービスを安定的に提供するための取組を進めていました。



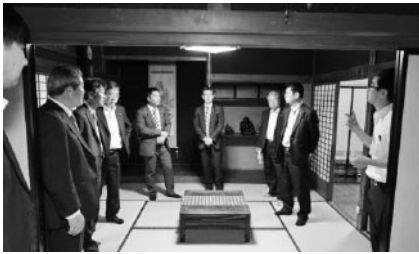
●シティプロモーションについて

久喜市では、シティプロモーション推進指針に基づいたPRビデオの制作や親善大使の活用により、戦略的な情報発信を行っていました。また、市のオリジナルダンスの「クッキーダンス」を市内高校とタイアップして普及を行い、市民の愛着の醸成や地域の活性化を図っていました。多くの人に市に関心を持ってもらう事により、流入人口と定住人口の増加に取り組んでいました。



●空き家対策事業について

栃木市では、自治会と連携した早期の空き家発見体制を構築するとともに、空き家バンクの利用促進、シルバー人材センターとNPO法人との協定により、空き家の利活用の促進と適正管理に努めていました。あわせて、空き家を活用した移住体験事業を行うことにより、空き家対策と定住促進対策を組み合わせた取組を行っていました。



民生文教常任委員会

【日程】 5月15日～17日

【視察先】 千葉県君津市
鴨川市
白子町

【委員名】 ◎加藤幸雄 ○出合和仁
沼田信良 嶋田幸恵
白井 中 藤本雅明
吉田康弘 竹松豊一

●学校再編について／英語教育推進事業について／小中一貫教育について

君津市の学校再編については、現状を的確に捉えた市の適正な学校規模基準に基づいて学校再編を進めるとともに、コミュニケーション・スキルをはじめとする魅力ある学校づくりに取り組んでおり、子ども達の教育環境の充実に努めていました。英語推進事業については、野外活動で英語のみを話す機会を積極的に設け、英語でのコミュニケーション能力の向上を図っていました。

●小中一貫教育について

育については、一部教科担任制による学習内容の定着や、小中合同活動に取り組んでおり、9年間を通じた連続性のある教育を行っていました。



●子育て支援事業について／小中一貫教育について

鴨川市の子育て支援事業については、保健師による訪問支援などの各種相談事業が充実しており、保護者が安心して子育てのできる支援体制が整備されていました。また、夜間保育を実施している幼保連携型認定こども園を見学し、保育方針についての説明を受けました。

小中一貫教育については、小中交流事業を定期的に実施し、小学校と中学校のつながりを重視していました。

また、教員同士の意見交換や保育所・幼稚園との連携を行うことにより、より深いのある教育の推進を目指していました。



●健康ポイント事業について

白子町では、専用の活動量計を用いて計測した歩数に応じてポイントが加算され、ポイント相当分のインセンティブを受け取ることができ、自らの健康に対する関心の向上を図っていました。

また、町の施設で体組成を測定した参加者には歩数や筋肉量などのデータを基に健康指導を行い、町民のさらなる健康増進に努めていました。

■ 会務報告

平成31年3月22日から令和元年6月13日まで

年月日	件名	摘要	開催地
31. 4. 4	議会だより編集委員会	・第193号発刊について	第二委員会室
4. 8	富山県市議会議長会臨時総会	・平成31年度富山県市議会議長会役員について	富山市
4. 9	第94回北信越市議会議長会定期総会	・平成30年度会務報告及び歳入歳出決算報告 ・平成31年度予算 ・全国市議会議長会への提出議案等	福井市
4.10 ～12	議会運営委員会行政視察	・30年7月豪雨災害の被災状況と対応について ・タブレット端末の活用について ・議会運営について	愛媛県西予市 愛媛県松山市
4.15	富山県西部市議会議長会総会	・平成30年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・平成31年度事業計画及び予算	高岡市
4.17	議会だより編集委員会	・第193号発刊について	第二委員会室
4.23	全員協議会	・「天皇陛下御即位に係る記帳所の設置について」他1件報告	第一委員会室
4.25	民生文教常任委員会	・（仮称）石動コミュニティプラザ整備事業について	第二委員会室
元. 5.10	民生文教常任委員会	・（仮称）石動コミュニティプラザ整備事業について	第二委員会室
	公共施設再編特別委員会	・クロスランドおやべ事業実施状況について他2件報告	第二委員会室
5.13 ～15	総務産業建設常任委員会行政視察	・市役所内部の「働き方・仕事の進め方改革」について ・空き家対策事業について ・シティプロモーションについて	神奈川県川崎市 栃木県栃木市 埼玉県久喜市
5.15 ～17	民生文教常任委員会行政視察	・学校再編について ・英語教育推進事業について ・子育て支援について ・小中一貫教育について ・健幸ポイント事業について	千葉県君津市 千葉県鴨川市 千葉県白子町
5.21	民生文教常任委員会	・小矢部市自殺対策計画の策定について他1件報告	第二委員会室
	人口対策特別委員会	・定住助成事業の実績について報告	第二委員会室
5.22	総務産業建設常任委員会	・令和2年度採用職員の募集について他2件報告	第二委員会室
5.27	全員協議会	・「津沢夜高あんどん祭」の開催概要について報告	第一委員会室
6. 4	議会運営委員会	・6月定例会提出議案について他	第二委員会室
6.10	富山県選出国會議員と富山県市議会議長会との懇談会	・各市からの要望事項の要旨説明	東京都
6.11	第95回全国市議会議長会定期総会	・平成30年度会務報告及び平成29年度決算報告 ・令和元年度予算 ・部会提出議案27件、会長提出議案5件等	東京都

編集後記

令和元年、初めての6月議会は人口が3万人を切る象徴的な議会でもありました。質問の中で一番多いのは学校教育関連であり、高齢者や人口減少の質問が次に多くありました。本市では、学校統廃合や高齢化、人口減少に関する様々な諸課題が山積しています。積極的な提言を行い、市当局と一丸となって市政に取り組みなければならぬと思います。

先の大相撲夏場所で朝乃山が優勝、八村塁選手がNBAのウィザードズに入団するなど若いスターが誕生したことは、富山の未来に大きな夢と希望を与えています。本市からも次世代のスターが誕生するように市議会としても引き続き支援していく所存です。市民の皆さんのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

（議会だより編集委員 加藤記）
次回の「議会だより」は、令和元年11月の予定です。